

第1回臨時会

陸別町議会第1回臨時会は、5月17日に開かれました。第1回臨時会では、専決処分の承認を求めることについて3件、令和4年度一般会計補正予算1件を審議しました。

中間施設を含めて全73室 3階建て 全室個室 4,200㎡規模

しらかば苑建替事業への補助金を可決

2年間で総額6億7千万円を補助《概算》

特別養護老人ホームしらかば苑は、昭和58年に町が公設民営で開設し、北勝光生会が運営を行ってきた。

建設から既に38年が経過し、施設の経年劣化が著しく進み、施設改修の必要性が国・道に認められたことから、5月17日に開催された、第1回臨時会において、令和4年度分の建て替え工事に係る法人への補助金3億3千500万円を賛成多数で可決した。

事業計画では、現施設の後ろ側に鉄筋コンクリート3階建ての特養を建設する。全てユニット型個室で、広域型特養60室、短期入所8室、中間施設5室の合わせて73室を配置。建設工事は、今

年度から着工し、来年の7月頃には新施設への引越越しを行い、その後旧施設の解体工事や外構工事を行う。全ての工事が完了するのは令和6年7月頃の予定である。

建て替えにともなう事業費（概算）は、総額約19億4千700万円。その内、国・道からの補助金約3億4千万円、法人の自己資金約2億700万円、町の補

助金6億7千万円、残額の7億3千万円は法人が2年間で償還期間として金融機関から借入を行い、その償還金は、町が法人へ補助する。

新施設に入れない町民への支援は

新しい施設をユニット型個室にすることによって、利用料が上がることになれば、低所得者への支援はどのように考えているのか。

A 利用料は現在よりも多少上がることになるが、それに見合った快適な居住空間と、介護サービスを提供することができる。

収入状況によって入居することが難しい町民がいる場合の対応は、町と法人で協議する。



▶ 現施設の裏側に建設予定

6月定例会

陸別町議会6月定例会は、6月7日と8日の2日間開かれました。今定例会では、規約の変更3件、工事請負契約の締結1件、条例案5件、補正予算案4件、意見書案1件を可決し、閉会しました。

主な補正予算の内容

(仮)合同納骨塚建設へ

●(仮)合同納骨塚建設のための実施設計費

424万円



▲ 合同納骨塚のイメージ画像

少子高齢化や核家族化が進展している中、やむを得ない事情により墓の継承や

維持管理が困難な方、経済的に墓を建立することができない方等のために、複数の焼骨を一緒に納骨する。今後は、(仮)合同納骨塚建設に向けて進めていく。建設場所は、大通の旧陸別保育所跡地を予定。

接種費用は

全額国が負担

● 新型コロナウイルスワクチン接種

217万円

● 予約窓口業務委託料

649万円

4回目の接種対象者は、3回目の接種を受けてから5か月を経過する60歳以上または、18才以上60歳未満で基礎疾患を有する者、その他重症化リスクが高いと医師が認められた者。また、接種等に係る費用については、全額国の負担となる。



プレミアム率は

40%と50%で販売

● プレミアム商品券発行事業

2千608万円



▲ プレミアム率40%の商品券

昨今の物価高騰等の影響により、停滞する地域経済活動対策として、プレミアム率を上乗せした商品券を、8月と12月の2回発行する。プレミアム率は、加盟店共通券が40%、飲食店限定券が50%として販売される。町からの補助金は、当初予算の833万円と補正予算分の2千608万円を合わせて、3千441万円。

契約の締結

● 工事請負契約の締結

新町団地公営住宅建設工事の請負契約が提案され、原案可決しました。

契約金額は、6千341万円。契約の相手方は南建設株式会社で、工期は令和4年10月31日まで。



▲ 新町交流館の裏側に公営住宅を建設

一般質問

6月定例会では3人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

高齢者等への支援に

万全な体制を

渡辺 三義 議員

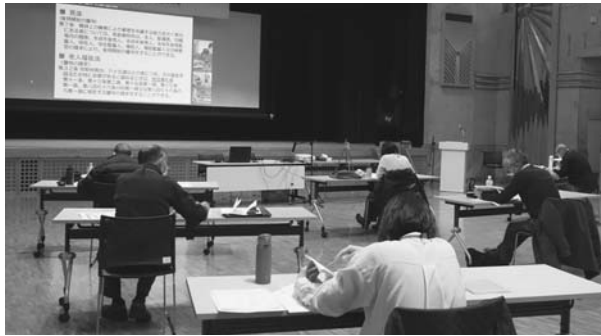
問 『しくへつ生活安心センターささえる』

は、平成28年7月から日常生活支援事業等、幅広い分野の福祉事業に従事され、町民の困りごとの総合相談窓口としても活動されている。その活動内容と、市民後見人養成講座を受講した人数及び実際に市民後見人として活動されている方はどのくらいいるのか。

町長 活動内容は、広報普及啓発活動、相談申し立て業務、市民後見人養成業務、法人後見業務、日常生活支援業務、福祉何でも相談等の6つの業務。相談は年々増加し、開設当初は19件であったが、令和3年度は39件だった。

また、市民後見人養成研修を平成25年度、平成29年度、令和3年度に開催し、

これまで39名の町民が終了された。その内、市民後見人として2名、ささえるが受任する法人後見の支援員として、16名の登録があり、その内4名が活動されている。



▲ 市民後見人養成研修 (タウンホールで開催)

問 介護保険サービス支援事業の中の訪問介護

サービスについて、当町では主にどのような事業が行われているのか。また、介護度を判定する、要介護認定審査会の組織体制はどのようになっているのか。

町長 訪問介護サービスは、身体介護と生活援助に分類され、身体介護は主に、入浴介助等が多く、生活援助は主に、掃除、洗濯、調理等が多い。また、要介護認定審査会は、陸別、足寄、本別の3町で共同設置し、月2回リモートで審査会を開催し、その委員は、保健医療福祉に関する学識経験者によって構成されている。

中間施設の運営内容は 事前の提示を

問 特別養護老人ホームしらかば苑の建て替えにともない、中間施設の運営は委託することになると思いますが、委託料や維持管理費等及び中間施設の入居に

係る要綱等は事前に示す考えはあるか。

町長 中間施設については、社会福祉法人と何度か大枠で協議をしてきた。その中では、利用している室数に限らず、職員を配置する必要があるため、最低保障額として、一定額を担保することも必要であると考えている。また、中間施設は、町が主体で行う事業であり、独自の高齢者介護サービスを提供することとなるので、入居に関する要綱等については、事前に示したい。

問 特別養護老人ホームしらかば苑を建て替えることについて、町長の思いを伺う。

町長 先人や諸先輩方が苦勞の末に設立したのが、しらかば苑であると思っている。これからも堅実な運営に努めていただき、町も情報共有をしながら、しっかりと寄り添っていきたいと考えている。

生乳需給調整下の畜産経営

久保 広 幸 議員

問 コロナ禍での生乳の需要低迷及び原油価格の暴騰と、それに関連する為替レートの円安基調などによる配合飼料や資材の価格高騰が、各種の設備投資を過剰投資にしてしまわないか。畜産業界における現下の極めて重いダメージをどの様に捉えるのか。

町長 民間の調査に拠ると、生乳の需給過剰が昨年で約24万トン、本年も約42万トンになることが見込まれている。また、飼料価格の高騰も様々な要因が指摘されている。

畜産業の経営が厳しい状況下にあるのは言うまでもないことであるが、各種の設備投資が直ちに過剰投資につながることは認識していない。

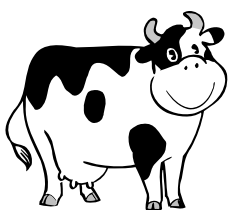
基幹産業としての畜産業の持続的発展に向けて、農

協や関係機関と連携して必要な支援を行っていく。

問 生乳の需給調整がバ

イオガスプラントの操業に逆風とならないか。間もなく試運転の段階に至る状況下において、その対応がどの様に進められているのか。

町長 プラントの原料となる糞尿の必要量を確保すべく、丁寧な説明と参加の働き掛けを続けていると聞いている。いずれにしても、バイオマス事業は畜産経営の安定のためには不可欠なものであり、必要な支援を行っていかねばならない。



特別養護老人ホームの包括的支援

問 介護保険事業は保険者が市区町村で、運営財源の1/4近くをそこに暮らす65歳以上の高齢者が負担する仕組みであるため、如何なる状況であっても、そのサービスをこの地域から無くすことにはならず、町としては施設の運営を含めた包括的な支援が必要になるのではないか。

町長 町内で、提供不可能な老人保健施設などのサービスについては町外の事業者と連携して介護ニーズを充足している。しかしながら、陸別町介護保険事業計画には可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしが継続できることを掲げており、特別養護老人ホームは無くしてはならない介護事業所と認識している。

今後、どの様な運営をして行くのか、法人の運営努力を含めて注視する必要がある。

脱炭素施策による地方創生

問 脱炭素の重点施策として太陽光発電の導入と、メーカー限定で目的は異なるが、電気自動車の購入には一定額の補助、助成を行っている。今後、これらを脱炭素化推進の一つとして拡充する考えがあるのか。

町長 一般住宅への太陽光発電システム導入補助金については、第6期総合計画に記載のとおり引き続き行っているが、拡充については、現時点では考えていない。

日産自動車株式会社限定の新車購入助成事業については、メーカーから軽自動車規格の電気自動車の発売が公表されており、町ではそれに合わせて助成金交付要綱を改定して、軽自動車規格を新たに助成する。これが、環境に配慮した電気自動車の購入促進にもつながるものと考えている。

新型コロナウイルス感染症が もたらす影響を問う

谷 郁司 議員

問 令和4年度に入ってから、当町の感染者数が急増しているが、現在までの感染者数と重症度分類（軽症、中等症、重症、死亡）の内訳は把握しているのか。

また、十勝管内には5ヶ所の保健所が存在しているが、現在は帯広市の一ヶ所になったことに関して、どのように思っているのか。

町長 5月28日現在、特別養護老人ホームしらかば苑では、職員28名、利用者48名、計76名の感染者が出たが、同日、帯広保健所より、施設内感染の終息宣言が出されている。また、同日までの感染状況は、一般成人46名、児童生徒13名、計135名（しらかば苑含む）である。重症度分類は、全道的な公表していない。

そのため、自治体毎の数は知らされていない。

保健所の統合については、国、道の方針であるが、現在、合理化にともなう弊害の議論がなされているので、十勝町村会を通して要請していきたい。

問 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した世帯の国保税は、減免又は免除（コロナ特別減免）されるが、実績はあるか。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響による、国保税の減免制度は、令和2年度から始まり令和4年度も継続している。全額免除に該当する世帯は無いが、令和2年度に事業収入関係で3世帯、給与収入関係で1世帯を一部減免している。

検診と駆虫剤散布による エキノコックス対策を

エキノコックスとは、

問 エキノコックスの媒介によって排出された卵が、水や食物に付着し、人体の肝臓に寄生する感染症である。この感染症は、検診による早期発見と早期治療が大切であるので、当町の感染者数と広報活動について伺う。

町長 エキノコックス症患者と診断された場合は、医師が北海道知事に報告することになっているので、当町で感染者数を掌握することはできない。

広報活動は、くらしのカレンダー等で周知するとともに、生水や家庭菜園の露地物の生野菜や山菜を口にする方は是非受診をしてほしいと呼びかけている。

また、検査対象は、小学校3年生以上で、検診間隔は5年に1回。受診者数は、平成29年度14名、平成30年度18名、令和元

年度22名、令和2年度16名、令和3年度18名と推移している。

問 エキノコックスを予防するために、駆虫薬をキツネの通り道に散布してはどうか。また、近隣自治体と連携して実施する考えはないか。

町長 駆虫薬の散布による効果は限定的であるため、現時点での散布は考えていない。今後は近隣自治体の動向を注視して、情報交換を行いながら研究してみたい。



街中でも見かけるキツネ

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
第1回臨時会(5/17)	
● 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度一般会計補正予算第12号)	承認
● 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算第4号)	承認
● 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算第6号)	承認
6月定例会(6/7~6/8)	
● 北海道市町村総合事務組合規約の変更について	可決
● 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決
● 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	可決
● 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 町税条例等の一部を改正する条例	可決
● 固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町介護保険条例の一部を改正する条例	可決
● 工事請負契約の締結について	可決

可決した意見書

● 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書



議会の動き

- 【5月】
- 9日 議員協議会
産業常任委員会
- 17日 議会運営委員会
第1回臨時会
議員協議会
- 【6月】
- 3日 議会運営委員会
- 7日 6月定例会
議員協議会
総務常任委員会
産業常任委員会

8日 6月定例会

議員協議会

議会運営委員会
(広報編集会議)

【7月】

6日 議員研修会(札幌市)

12日 議員協議会

19日 議会運営委員会
(広報編集会議)

25日 議会運営委員会
第2回臨時会

【8月】

4日 総務常任委員会
産業常任委員会

次回の定例会は9月に開催されます。
詳しい日程等は議会事務局にお問合わせ願います。

【陸別町議会ホームページのご案内】



陸別町議会
ホームページ
のご案内



【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>